

第四次中期経営計画

2024 ▶ 2028



その人らしさを大切に

～ みんなの笑顔のために ～

令和6年4月

社会福祉法人

山口県社会福祉事業団

I 中期経営計画の策定に当たって

1 策定の趣旨

社会福祉を取り巻く環境が変化する中、山口県社会福祉事業団は社会福祉法人に求められる使命を果たし、「その人らしさを大切に～みんなの笑顔のために～」の基本理念を実現するため、事業団が今後5年間に進むべき経営の将来像を定め、その目標達成に向けた実行計画を策定しました。

2 計画の位置づけ

当事業団における経営の行動指針とします。

3 計画の期間

2024年度～2028年度（5年間）

※ 計画期間中において、国における関係制度等の改正や、県における諸計画の見直し及び福祉ニーズの変化等を適切に捉え、必要に応じて見直しを行います。

4 計画の基本的な考え方

基本理念及び基本目標の実現に向けて取り組みます。

○基本理念

「その人らしさを大切に ～みんなの笑顔のために～」

○基本目標

- ◆ 利用者の立場に立った「選ばれる施設づくり」
- ◆ 地域から信頼される「地域とともに歩む施設づくり」
- ◆ 自立的経営を目指す「経営の基盤づくり」

5 計画の着実な推進

本計画に掲げる重点的な取組事項を着実に推進するため、概ね2ヶ月に1回開催する経営会議において、本計画の進捗状況の把握と検証を行いながら、総合的な進捗管理を行います。

Ⅱ 第四次中期経営計画における重点的に取り組む項目

第三次中期経営計画における取組の成果や課題等を踏まえ、今後の更なる発展と安定した経営を目指すため、第四次中期経営計画期間中において、「その人らしさを大切に～みんなの笑顔のために～」の基本理念の元、それを支える基本目標ごとに重点的に取り組む事項を定め、本計画期間内での達成に向けて鋭意取り組みます。

選ばれる施設づくり


選ばれる施設づくりに向けて、基本理念を念頭に置き、利用者のニーズに沿った安心・安全な福祉サービスを提供するとともに、透明性の高い法人運営を進めていきます。

1 サービスの質の向上

多様化する利用者のニーズに沿ったサービスの質の確保に向けて、利用者の意思を尊重した専門性の高いサービスの提供体制づくりを進めます。



(1) 医療的ケアの提供体制の確保・充実

重度・高齢化の進む利用者のニーズに対応するための施設機能として、利用者の状態に応じた医療的ケアの提供体制の確保・充実を図ります。

具体的取組	目標				
	2024	2025	2026	2027	2028
認定特定行為業務従事研修修了者の増	5人以上/年 				






(2) 利用者の意思決定の尊重

利用者の権利擁護の視点に立ち、利用者の意思を尊重したサービスの提供を行います。

具体的取組	目標				
	2024	2025	2026	2027	2028
意思決定支援会議の開催	随時 				
意思決定支援ガイドラインに沿った対応	常時 				


(3) 高い専門性を確保したサービスの提供

高い専門性が求められる認知症及び強度行動障害を有する利用者への支援体制の強化に向けて、研修機会の確保を図ります。

具体的取組	目標				
	2024	2025	2026	2027	2028
認知症介護実践者研修の受講	高齢者施設3人/年 				
認知症介護実践リーダー研修の受講	高齢者施設1人/年 				
認知症介護指導者養成研修の受講	高齢者施設1人/5年 				
強度行動障害支援者養成研修(基礎)の受講	障害児・者施設5人/年 				
強度行動障害支援者養成研修(実践)の受講	障害児・者施設3人/年 				



(4) 虐待の防止

虐待行為及び不適切な支援を防止し、安心・安全なサービスの提供を行います。

具体的取組	目標				
	2024	2025	2026	2027	2028
職員への虐待防止セルフチェックの実施	1回/年 				


(5) 感染症予防の徹底

日常的な感染症の予防対策を徹底するとともに、有事に対応できる体制等の整備を進めることで、安心・安全なサービスの提供を行います。

具体的取組	目標				
	2024	2025	2026	2027	2028
スタンダードプリコーションの徹底	常時実施 				
BCP及び対応マニュアルに基づく体制等の整備	随時改正及び体制整備 				

(6) 事故の未然防止

施設運営上起こり得るリスクへの管理意識を高め、日常的なヒヤリハット及び事故報告の事例の要因分析に基づく対応を適確に行うことで、事故の未然防止を図ります。


具体的取組	目標				
	2024	2025	2026	2027	2028
リスクマネジメント委員会の実施	定期及び緊急時 				

2 運営に係る透明性の確保

法人及び施設運営に係る情報の積極的な公表や家族等との交流機会を設けることで、運営の透明性の確保を図ります。

(1) 情報の公表

法人及び各施設の運営や施設サービスに関する情報及び評価結果等を積極的に公表することにより、法人運営の透明性の確保を図ります。

具体的取組	目標				
	2024	2025	2026	2027	2028
ホームページ等を活用した積極的な情報の発信	随時 				

(2) 施設サービスへの理解促進




家族会等の交流機会を積極的に提供し、施設サービスへの理解促進に努めます。



具体的取組	目標				
	2024	2025	2026	2027	2028
感染症等のリスクを考慮した面会の実施	随時：感染症流行時には、他の方法による実施を検討 				
家族会等による交流機会の確保	1回以上/年 				







3 各施設拠点における重点的取組

各施設拠点において、『選ばれる施設づくり』に向けて重点的に取組む事項を定め、実践します。





灘海園	目指すべき方向	医療的ケアを必要とする利用者の受入体制を整備・充実し、質の高いサービスを提供します。					
	取組事項	①	医療的ケア体制の確保			目標項目	認定特定行為業務従事者研修の計画受講
		②	園内体制の再構築（委員会・マニュアル等の整備）				受入体制の整備
	目標		2024	2025	2026	2027	2028
		①	2人/年 				
②		受入体制の構築 		受入体制の充実 			


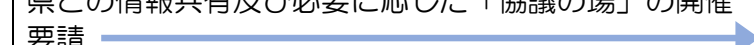
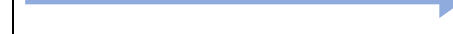
伊保庄園	目指すべき方向	医療的ケア体制を充実し、質の高いサービスを提供します。					
	取組事項	①	医療的ケア体制の確保・充実			目標項目	認定特定行為業務従事者研修の計画受講
		②	フォローアップ研修等の実施				内部研修の充実
	目標		2024	2025	2026	2027	2028
		①	1人/年 				
②		2回/年 					




オアシスはぎ園	目指すべき方向	外出支援を通して、利用者・職員・家族・地域の人々の笑顔を引き出します。					
	取組事項	①	外出支援の充実 ・家族参加も含めた個別のニーズに応じた外出支援 ・グループのニーズに応じた外出支援（利用者・職員等）			目標項目	個別外出及びグループ外出支援の充実
		②	ホームページ及び広報誌を活用した活動内容の情報発信				活動情報の発信
	目標		2024	2025	2026	2027	2028
		①	17回/年 		22回/年 		
②		4回/年 		6回/年 			




たちばな園	目指すべき方向	利用者の高齢化及び障害の多様化に対応できる専門性の高いサービス提供体制を充実します。					
	取組事項	①	強度行動障害等のある利用者への適切な支援方法の獲得及び実践			目標項目	強度行動障害支援者養成研修の計画受講
		②	利用者の重度高齢化等に応じたハード及びソフト面の充実				先進的施設見学及び実習
		③	成年後見人制度活用の啓発				日中活動の見直し
	目標		2024	2025	2026	2027	2028
①		研修受講1人以上/年					→
②		検討	実施	見直し及び実施の継続			→
③		随時					→

華南園	目指すべき方向	利用者の日中活動を充実させるとともに、利用者の高齢化や多様な障害特性に対応できる専門性の高いサービスを充実します。					
	取組事項	①	自己決定による外出支援の充実			目標項目	外出支援の実施
		②	利用者の機能低下や多様な障害特性に応じた専門的なケアによるサービス体制の確保・充実				強度行動障害支援者養成研修の計画受講
	目標		2024	2025	2026	2027	2028
		①	1人：2回/年（夢の日を含む）				
②		1人/年					→
	常時8人以上の確保					→	

はなのうら ・華の浦	目指すべき方向	利用者・児が主役になれるよう、毎日の暮らしを楽しいと感じる活動を提供するとともに、医療を必要とする利用者・児への専門性の高いサービスを提供します。				
	取組事項	①	利用者・児の意思や要望を重視したサービスの提供		目標項目	意思決定支援会議の開催
		②	医療的ケア体制の充実			にじの会の開催 (利用児・者の会) 夢プラン(個別外出)の実施 認定特定行為業務従事者の一定数確保
	目標		2024	2025	2026	2027
①		2回/年 				
		1回/月 				
		1人：2回/年 				
②	常時9人以上の確保 					

このみ園	目指すべき方向	県内唯一の単独福祉型障害児入所施設として、多様なニーズを積極的に受け入れ、定員40人満床の継続を目指すとともに、令和6年度より施行される移行調整の新たな枠組みについて、関係機関と積極的に連携をとり、利用児の適切な移行につながる支援体制を確立します。				
	取組事項	①	様々なニーズを持つ障害児の積極的受入れ		目標項目	定員40人満床の継続
		②	円滑な移行調整に向けた支援体制の確立			行政主導の新たな移行調整の枠組みへの積極的参画
	目標		2024	2025	2026	2027
①		関係機関との連携による入所ニーズの掘り起こし 				
		県との情報共有及び必要に応じた「協議の場」の開催要請 				
		②	サービス提供体制の整備(ソーシャルワーカーの配置、支援の質向上等) 		「このみ園移行支援マニュアル」の作成開始	「このみ園移行支援マニュアル」の完成

山口県 みほり学園	目指すべき方向	施設全体が「治療の場」となるよう、「総合環境療法」を実施し、児童の心のケアと社会適応能力の向上を図ることで、親子関係の再構築（家族再統合）を推進するとともに、施設機能を活かし地域のニーズにも対応します。				
	取組事項	①	トラウマケアや発達障害等に係る知識や訓練技法を高めた専門的な支援による児童の社会適応能力の向上		目標 項目	定期的な専門研修への参加
		②	退所後の生活に円滑に移行するための社会的自立に向けた支援			園内研修の充実
		③	施設機能を活かした、地域ニーズへの対応			訓練の評価と展開
	目標		2024	2025	2026	2027
①		家族再統合 2人/年 				
②		マニュアル整備	計画実施 			
③		外来相談10件/年 				

山口県 児童センター	目指すべき方向	こどもの居場所（サードプレイス）として、全てのこどもが集えるよう、児童センター機能を充実します。				
	取組事項	①	年齢層に応じたニーズ把握と行事の見直しによる利用促進		目標 項目	年長児童の利用促進
		②	地域と共に進める子育て支援			関係機関との連携及びボランティアの育成
		③	児童厚生員の専門性の向上			児童厚生員1級及び2級指導員資格の取得
	目標		2024	2025	2026	2027
①		ニーズ把握及び行事等の見直し検討・調整		実施と検証 		
②		随時 				
③		全ての児童厚生員が取得 				

ゆ〜あいプラザ 山口県 社会福祉会館	目指すべき方向	会議室の利用ニーズに応じた利便性を高めることで、選ばれる施設づくりを目指します。					
	取組事項	①	ホームページ及び会議室予約システムの再構築		目標 項目	会議室利用回数の増	
		②	会議室のWeb環境の整備			Web環境の整備	
	目標		2024	2025	2026	2027	2028
		①	550回/年	580件/年	610件/年	640件/年	670件/年
②		導入検討	整備				


地域とともに歩む施設づくり

地域共生社会の実現に資するため、高い公益性をもって、積極的に地域への貢献活動に取り組みます。

1 地域社会への貢献



(1) 公益的な取組の実施

各施設拠点において地域の福祉ニーズに応じた公益的な取組を実施します。

具体的取組	目標				
	2024	2025	2026	2027	2028
地域ニーズに沿った公益的な取組の実施	毎年度計画実施 				


(2) セーフティーネット機能の発揮

地域の高齢者や障害者等が被災及び虐待事案が生じた際の緊急避難場所として、受け入れ体制を整えることで、地域におけるセーフティーネット機能の役割を発揮します。

具体的取組	目標				
	2024	2025	2026	2027	2028
関係機関との連携強化	随時 				
受入体制及びマニュアル等の整備	改正等必要時 				




(3) 福祉人財の活用

職員が持つ技術や知識、経験等を地域に還元する事業を計画的に実施します。

具体的取組	目標				
	2024	2025	2026	2027	2028
福祉人財を活用した地域活動への参画	随時 				

2 交流機会の確保

地域の福祉ニーズを把握し地域に施設機能を積極的に開放する等、地域住民等の活躍の場の提供と、相互交流機会の拡大を図ります。



具体的取組	目標				
	2024	2025	2026	2027	2028
地域への施設の開放	随時 				
ボランティア団体等の受入れ	随時 				
地域活動への積極参加	随時 				

経営の基盤づくり

法人組織のガバナンスの強化を進めるとともに、施設設備の充実及び人財の確保・育成・定着を着実に進めるための財源を確保し、安定的で持続的発展を可能にするバランスのとれた経営基盤を確立します。

1 法人組織のガバナンス強化

法人の基本理念の実現に向けて、内部管理体制の基本方針に基づき、規程等の整備や、研修等の実施により、役職員の意識の醸成と定着を推進する組織体制の確立を図ります。


具体的取組	目標				
	2024	2025	2026	2027	2028
経営会議の実施	6回/年 				
コンプライアンス研修の実施	本部研修2回/年 施設研修1回/年 				

2 人財の確保・育成・定着


優秀な人財の安定的な確保に向けて、積極的な情報発信や広報活動の充実を図るとともに、雇用後の育成・定着を進めるための環境整備を進めます。

(1) 人財の確保

ア 採用チャネルの多様化を推進し、多様な人財の確保を図ります。



具体的取組	目標				
	2024	2025	2026	2027	2028
人財の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・各種教育機関等との連携強化 ・SNS等を活用したPR活動の推進 ・高齢者、障害者等の雇用促進 ・職員紹介制度の活用 	随時 				

イ 施設機能を活用し、将来の福祉人財である実習生やインターンシップの積極的な受け入れを行います。




具体的取組	目標				
	2024	2025	2026	2027	2028
各教育機関との連携強化	随時 				

(2) 人財の育成

ア サービス提供に関連する資格取得の促進を図ります。




具体的行動	目標				
	2024	2025	2026	2027	2028
事業実施に必要な有資格者の継続確保	実態把握及び確認 				
資格取得助成制度の活用	随時 				

イ 職員の人財育成及び資質の向上に向けて、体系的かつ専門的な研修機会を確保します。


具体的取組	目標				
	2024	2025	2026	2027	2028
階層別研修の実施	各階層 1回/年 				
特別研修の実施		実施		実施	
セミナー研修の実施	発表施設 ・灘海園 ・たちばな園 ・このみ園	発表施設 ・伊保庄園 ・華南園 ・みほり学園	発表施設 ・はぎ園 ・はなのうら 華の浦 ・児童センター セミナー研修の 在り方検討		
出前研修の実施	随時 				
外部研修への積極的な参加	随時 				

(3) 人財の定着


ア 働きやすい職場風土の醸成に向けて、「ハラスメントは絶対に許さない」という強い姿勢のもとに、ハラスメントの防止及びメンタルヘルス対策の強化を図ります。

具体的取組	目標				
	2024	2025	2026	2027	2028
ハラスメント研修の実施	本部研修・施設研修1回以上/年 				
全職員へのハラスメントに係る調査の実施と公表	1回/年 				
相談窓口の設置整備と相談事業の実施	常時 				


イ 職員の定着促進に向けて、業務の効率化と労務環境の改善を図るため、ICT機器や福祉機器等の導入を進めます。

具体的取組	目標				
	2024	2025	2026	2027	2028
ICT機器や福祉機器等の導入による労務環境の改善	随時 				

ウ 採用1年目の職員に対し、事務局職員が定期的な訪問・面談等を行い、新人職員が気軽に相談できるサポート体制の充実を図ります。

具体的取組	目標				
	2024	2025	2026	2027	2028
訪問面談の実施	1人：3回/年 				

エ 各施設拠点において職員個人や小集団による積極的な提案等を募り、現場の声を反映する「小集団活動」を推進することにより、職場環境の改善を進めます。

具体的取組	目標				
	2024	2025	2026	2027	2028
小集団活動の推進	制度の周知	随時実施 			

3 安心安全な施設環境の整備に向けた財源の確保

築40年以上経過し、老朽化した施設の改築費用に充てるため、計画的な財源確保を図ります。

◆ 今後改築を要する施設（令和6年4月1日現在）

施設名	創設年月日	築年数(年)	実施事業(定員(人))
伊保庄園	S51.4.1	48	特養(100) 短期入所(14)
華南園	S48.7.1	50	施設入所支援(50) 生活介護(50) 短期入所(4)
たちばな園	S52.6.1	46	施設入所支援(50) 生活介護(50) 短期入所空床型 相談支援
オアシスはぎ園	S54.11.1	44	特養(100) 短期入所(16) 通所介護(30) グループホーム(18) 居宅介護支援 在宅介護支援センター

※ 県立施設である「山口県みほり学園」については、県による改築に向けた検討が進められています。

(1) 施設設備の整備

今後改築を要する4施設拠点のうち、本計画期間中については、最も災害リスクの高い伊保庄園を最優先として、移転改築を計画的に推進します。

なお、伊保庄園改築以降の改築順位については、本計画期間中において検討します。

具体的取組	目標				
	2024	2025	2026	2027	2028
改築等検討委員会及びワーキングチームの設置	基本構想等の検討・調整 →				
伊保庄園移転改築		基本設計	実施設計	着工・完成	移転・解体

(2) 収益の確保

今後の施設改修及び改築に向けて、施設整備等積立金を毎年度 130,000 千円以上の積立を行うことを目標として取り組みます。

具体的取組	目標				
	2024	2025	2026	2027	2028
稼働率の向上と加算の取得等による収益の確保	毎年度 130,000 千円以上の積立 →				

(3) 利用者の確保

経営の安定化に向けて、各施設拠点における空床期間の短縮に取り組み、収入の源となる稼働率の継続的な確保に努めます。

具体的取組	目標				
	2024	2025	2026	2027	2028
利用者確保策の推進 ・ 関係機関との連携強化 ・ 在宅事業の受入れ強化 ・ 内部体制の強化	主要事業の年間稼働率 95%以上の確保 →				

(4) 施設機能の維持

施設機能の維持に向けた改修及び設備の更新を計画的に行います。

具体的取組	目標				
	2024	2025	2026	2027	2028
施設設備の更新計画の作成	年度更新 →				
国、県の補助制度及び民間補助金の活用	随時 →				

社会福祉法人 山口県社会福祉事業団

第四次中期経営計画

発行 令和6年4月
発行者 社会福祉法人 山口県社会福祉事業団
〒753-8555 山口市大手町9番6号
電話 083-924-1025
FAX 083-924-1029
メール info@jigyodan-yg.jp
HP <https://jigyodan-yg.jp/>
